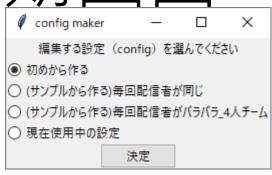
初期画面



Python3 config_maker.py を実行 もしくは

change-bot-setting.batをダブルクリックすると 左の画像のような画面が出てくる

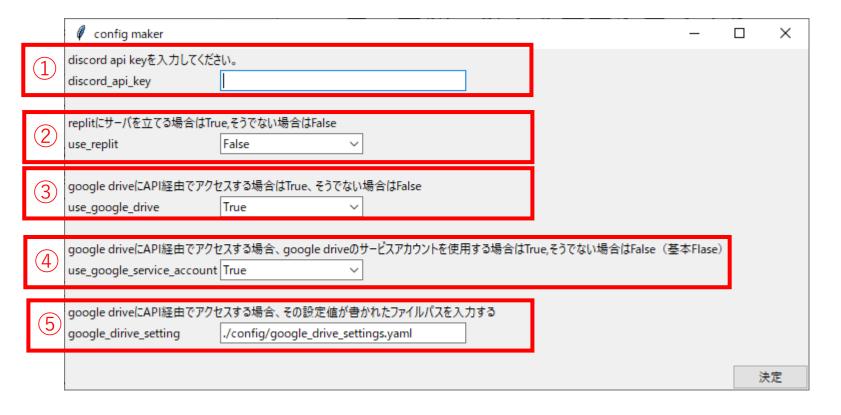
ご自身の状況に合わせて1つ選択し「決定」をクリックしてください

- 初めから作る
 - ある程度参考値が入ったtemplateから設定値を作ることができます
 - すべて1から決めたい人におすすめ
- (サンプルから作る)毎回配信者が同じ
 - サンプルが動くようにした設定ファイル
 - 配信者が毎回同じ前提なので、配信者の欄はありません
- (サンプルから作る)毎回配信者がバラバラ_4人チーム
 - サンプルが動くようにした設定ファイル
 - 配信者が日によって変わる前提なので、配信者の欄があります
 - 4人が交代しながら配信することが前提の設定ファイル
- 現在使用中の設定
 - 現在使用中の設定を書き替える場合はこちら

決定をクリックすると次の画面に移ります(次ページ)

※サンプルは、sampleフォルダの中にあります。

共通設定画面



- ① discord botを作る手順で取得した discord_api_keyを入力してください
- ②自分のPCでbotを動かす場合はFalse replitと呼ばれるサービスを使用して botを動かす場合はTrue
- ③自分のPC内部に保存されている画像などを利用する場合は、False。
- **※Google Drive**を使用する場合でも 自分のPC上にDriveをマウントして、そのファ イルパスを使用する場合はFalse
- ④ ③の設定がTrueの時にGoogle service accountを使用する場合はTrue基本的にはFalseで問題ない。

Trueにした場合、secretキーをconfig配下に secret_key.jsonという名前で保存しておく

⑤通常は触らない。

(GCPのことを十分に理解している人で設定を変えたいときは編集する)

オウム返し機能設定画面



①オウム返し機能の読み込みを許可するか

許可:True

許可しない:False

ここで許可しないを選択すると、

オウム返しに関する機能の設定はしなくてもよい

②オウム返し機能機能のうち、parrotコマンドを

有効にするか 有効:**True**

無効:False

コマンドの説明は、discord上で /bot-helpを実行したときに表示されるテキストの内容

chat-openai機能設定画面



①GPTを使ったchat機能の読み込みを許可するか

許可:True

許可しない:False

ここで許可しないを選択すると、

GPTを使ったchat機能に関する機能の設定はしなくても よい

- ②ChatGPTのopenai api keyを入力してください ※api key取得は無料、この機能を使用するたびに料金 が発生する。支払先はGPTの生みの親のopenai社
- ③特にこだわりがなければ変更しない
- ④GPTがどんな役割なのかを説明する文章を入力
- ⑤1以上の整数値で入力。おすすめは500。
- ⑥特にこだわりがなければ変更しない
- ⑦内部的にGPTとの会話ログをどれだけ残しておくか 5なら、5チャット分
- ⑧ GPTを使ったchat機能のうち、parrotコマンドを有効にするか

有効:True 無効:False

コマンドの説明は、オウム返しに同じ

live_scheduler機能設定画面①



⑤スケジュールが書かれたエクセルファイルのパス サンプルは、次のようにフォルダを開いていき、スケジュール表.xlsxにある。 書き方も同エクセルに記載しているので、スケジュールを作成し編集しやすい 場所に保存する。

保存したエクセルをエクセルのパスとして選択する

sample > 配信者がバラバラ 4人チーム

sample >配信者が毎回同じ

①live scheduler機能の読み込みを許可するか

許可:True

許可しない:False

ここで許可しないを選択すると、

live scheduler機能に関する機能の設定はしなくてもよい

②Google Driveにあるファイルを使うか

使う場合:True

使わない場合:False

③ live scheduler機能のそれぞれのコマンドを有効

にするか

有効:True

無効:False

コマンドの説明は、オウム返しに同じ

④配信スケジュールのベースとなる画像のパス

※Googledriveの場合は共有リンク(以降同じ)

スケジュール表の枠とお好みの背景等が描かれた画像 ひな形は次のようにフォルダを開いていき、スケジュー ルひな形.pptx

sample > 配信者がバラバラ_4人チーム

sample >配信者が毎回同じ

ひな形を好きなように編集し、pngファイルとしてエクスポートする。

そのエクスポートしたファイルパスを選択する

live_scheduler機能設定画面②

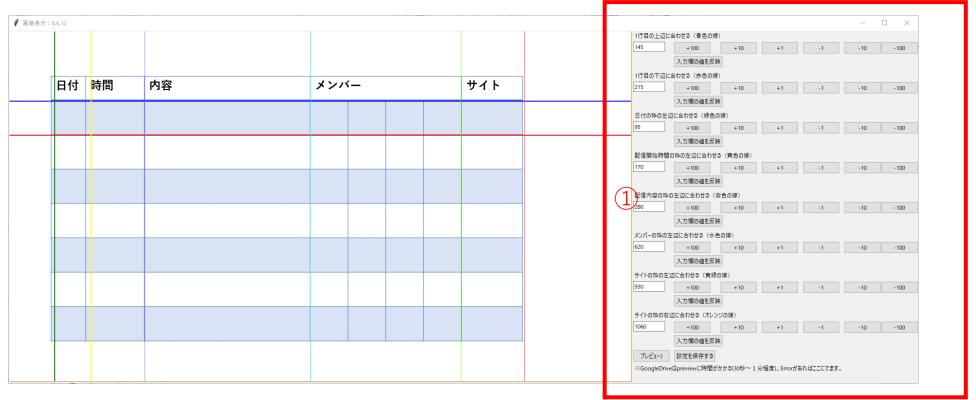
Live schedulerの読み込みを許可したうえで、 スケジュールの作成を許可した場合は下記のファイルの場所選択する



- ①ライバーのアイコン 配信者が毎回同じ場合は空欄でOK
- ②配信内容の文字画像 ※左の「配信内容」はスケジュール表のエクセルの配信内容と同じにすること
- ③配信サイト ※左の「配信サイト」はスケジュール表のエクセルの配信内容と同じにすること
- ④数字の文字画像 ※左の「数字」は必ず半角で入力すること

※すべてにおいて、間違えた場合は空欄でOK ただし、数字は $0 \sim 9$ と「:」の全てを埋めること

live_scheduler機能設定画面③



ベース画像のファイルの読み込み設定が正しければこんな感じの画面が表示される

- ①右のボタンなどを操作し、スケジュール表の1行目に合わせてください
- 場合によっては少しずれている方が見栄えがするので、プレビューで確認しながら調整してください
- ※ファイルの読み込み設定が間違っていると、プレビューの下にErrorが出ます。

Errorが出た場合…

完全にリセットする場合は、設定画面のwindow2つを閉じて、もう一度初めからやりなしてください。 リセットせずにファイル読み込みだけやり直したい場合は、保存して、初めからやり直すときに「現在使用中の設定」を選んでください

※ちなみにこの画面のスケジュール表はひな形のまま出力したので殺風景ですが、ひな形を好きにアレンジしてオリジナル物を作ってください b